

令和6年度 保育現場の魅力向上 支援事業報告書（研修支援型）



研修1回目

研修2回目

研修3回目

研修4回目

課題の認識



原因の追究



打ち手の検討



発表会

話しやすい雰囲気を作るために全体を5グループに分け ユニークなグループ名も付けました！

ネイチャーフリーグループ



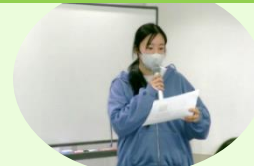
- ・自然と自由を愛する皆さんは終始にこやかで…和気あいあい楽しそうでした！

ライトボールグループ



- ・右利きばかりで皆、学生時代部活が球技部！体育会系らしくいきいきとした意見交換が絶えませんでした！

アイス旅行グループ



- ・一見クールに見えて実は熱い議論が行われていたのは、旅行が大好きな皆さん…趣味の話でも盛り上がっていたようです。

マザーウエストグループ



- ・西区の園に勤務し子育て中のママ保育士ばかりで意気投合！活発な話し合いがなされていました！

お酒大好き長女グループ



- ・お酒好き＆長女ばかりと言う事もあってか、しっかりと落ち着いた雰囲気が漂っていました。

1. 業務効率化編



業務を可視化し効率的に！！

①課題

- ①職員間で仕事量が把握しにくい。
- ②個人の作業をする時間が少ない。

②原因

- ①全体の仕事ボードが上手く活用されていない。
- ②個人の作業よりも全体の作業が優先されがちである。

- 保育園名 松島りすの森保育園
- 所在地 福岡市東区松島2-10-7
- 定員 120名
- 職員数 33名



③打ち手

- ①LINE WORKSで個人の仕事量、タスク管理を行えるようにする。
- ②朝礼で職員の配置管理を、全体ボードで行う。
- ③ノンコンタクトタイム（個人orクラス）を可視化する。

④取り組みの成果/感想

- ① LINE WORKSでクラス・個人のタスクを“見える化”することを試みたが、タスクを打ち込む手間もある為、試行錯誤中である。
- ② 全体ボードで、配置に余裕がある時にクラス間で話し合い、個人・クラスの仕事を効率よく行うことが出来るようになってきた。
- ③ ノンコンタクトタイムをシフトに組み込み、“見える化”を試みた。気兼ねなく自分の仕事に取り組めるという声があがる反面、均等に割り振るのは難しい面もある。



すぐ見直し、すぐ改善！

①課題

- ・早出の勤務が2人では難しい。

- 保育園名 **大井保育園**
- 所在地 **博多区大井2丁目7-12**
- 定員 **140名**
- 職員数 **38名**



②原因

- ・以上児が集中して遊べる玩具が少ない。
- ・こどもの受け入れや見守りをする中で、排泄の対応をしないといけない時がある。
- ・7時30分から8時までの間のこどもが多い中でサポート、0歳児もいる。
- ・0歳児の活動量が増え、何度も遊ぶ空間からでていき危険である。
- ・人数に対しての部屋が狭い。

③打ち手

- ・未満児が誤飲しない以上児の玩具を増やす。
- ・密集を避ける為に以上児と未満児の遊ぶスペースを分ける。
- ・7時半からの職員を増やす。
- ・部屋の環境を変える。受け入れ口と保育スペースを近くにして行き来がしやすいようにする。
- ・パーティションを増やし、保育者のみ出入りできるようにする。

④取り組みの成果/感想

- ・職員からの早出の困り感を出して共有することでそれぞれの保育の見守り方の工夫を知ることができた。
- ・以上児と未満児の子どもを分けることによりそれぞれが落ち着いて過ごせている。
- ・当たり前に行っていることを改めて見つけ直し改善へと繋げていける良い機会となった。
- ・今後も職員配置や園の統一した内容を明確化して改善していく。

やりたいこと（保育）を実現するために！！

①課題

- ・ 業務が多く、やりたいこと（保育）があるのに実現できない

②原因

- ・ 後半期になり、在園児数が増えることで話し合う時間が取りづらくなる。
- ・ 十分な話し合いが出来ず、行事準備のスタートが遅くなる。
- ・ 土曜日の登園児数が増え、作業できる時間が減る。

- 保育園名
キッズ・キッズ保育園 博多
- 所在地
福岡市博多区博多駅前
2-12-3-2F
- 定員 19名
- 職員数 12名



③打ち手

情報共有(見える化)をし、すきま時間を有効活用する

- ・ 会議等の話し合いを待たずに出来るものは協力して進めていく。
- ・ 個人(クラス別)の年間スケジュールに作業期間を加え、作業スタート時期を周知する。
- ・ 朝の園児が少ないすきま時間に作業をしたり、土曜日出勤の給食職員に協力してもらい、作業を進める。

④取り組みの成果/感想

課題を出し合い、「解決できそうなこと」「すぐには解決できないこと」をグルーピングすることで、話の方向性が不満ではなく解決できる方法を探す話し合いができた。話し合いの中で「これならできる!」「できたら助かる!」「楽になる!」などの言葉がでながら、たくさんの意見が出たのは一番の収穫だと思う。子どもたちのお昼寝の時間を使い、1時間ちょっとの話し合いで、課題が整理できたこと、解決案が決まったこと、共通確認ができたことが良かった。ここで決まったことを実践することでみんなで改善していくことができるということを実体験し、そのルーティンを構築していきたい。

『アプリの活用！』

①課題

- パソコンが難しく書類作成に時間がかかる
- ◎行事前の休憩が短くなってしまう

②原因

- フォーマットの作成に時間がかかり負担になっている
- ◎業務量が多い（大きな行事2つ）
 - 【日常】掃除、備品の補充、書類（月末）、遊び、環境設定 等
 - 【行事前】打ち合わせ、報告、書類（計画案等）準備物の確認（各係の仕事）
- ※大きな行事（運動会・発表会）前になると、誕生会等其他の行事と同時進行になる時もありどうしても業務量が増えてしまう
- △休憩の取り方（各クラスで違う 時間等）

- 保育園名 あゆみらい保育園
- 所在地 西区拾六町1丁目20-1
- 定員 140名
- 職員数 40名



③打ち手

- ◎行事の業務内容の見直し（削減）
 - LINEWorksの活用（お知らせ、記録等）
- アプリ（キッズビュー）で全クラスのフォーマットを統一する
 - 写真の入れ込みとコメントの入力のみになる

④取り組みの成果/感想

- 書類作成（クラス便り）は写真の入れ込みとコメント入力のみになったので、時間削減出来た
- 休憩時間が増えた（30～45分）
- 休憩だけでなく、日頃の遊びや環境設定について考える時間も増えた
- 休憩時間に仕事をする職員もいる為、ゆっくり身体を休める時間にできればよりいい

計画的行事準備で業務を分散

①課題

- ・業務量が多い
- ・ノンコンタクトタイムが取れない

■保育園名 飯盛保育園

■所在地 西区大字飯盛534

■定員 200名

■職員数 45名



②原因

【行事が多い】

大きい行事に加え、小さい季節行事が多く、年間通して準備や作り物が多くなっている。

⇒業務の進み具合が気になり、ノンコンタクトタイムや休憩をとる気持ちの余裕がない

【行事や業務内容が慣例化されている】

園児数の増加や職員数、勤務形態の変化によって業務負担が重くなっている部分がある。

③打ち手

- ◎行事内容の見直し
園児数や気温等の環境の変化に応じて、内容が適切かどうかを検討していく
- ◎年間通して計画的な行事準備
 - ・作業内容、必要な作り物を一覧として視覚化
 - ・作業分担の明確化
- ◎定期的な倉庫整理

④取り組みの成果/感想

- ・今まで保育者のみで進めていた作業の一部を保護者をお願いしたり、園児と保護者で行う行事に変更したことで、保育者の負担も減り、合わせて子どもたちの新しい楽しみに繋がったと感じた。
- ・今年度の初めから新しく変更した作業については、デメリットもあるかもしれないが取り組むべきものだとして改めて感じた。
- ・他園との情報の共有が出来たことで、自園の業務軽減方法を具体的に知ることが出来た。
- ・手間や時間をかけることを重視しがちだが、より効率的かつ効果的に保育を行うためにICT化を積極的に取り入れたい。

2. 職員間のコミュニケーション 円滑化編



保育の充実で時間の確保を目指します!!

①課題

- 昼に話し合いの時間が取れない
- 収納スペースなどの片づけに手が回らない
- 仕事が溜まっている

↓
時間がない

②原因

- 作業できる時間があっても、保育を抜けることができない(泣いている子、眠たい子の対応)
- 職員の子どもへの関り方が違うため、子どもの気持ちが安定しない→泣く、眠れない

- ↓
- 遊び込める環境が少ない
 - 保育士の子どもへの関り方が一貫していない
 - ↳保育環境の見直し・職員間のコミュニケーション

■保育園名 キッズ・キッズ保育園長丘

■所在地 福岡市南区長丘4-3-36

■定員 19名

■職員数 16名



③打ち手

- 自由遊びの時間の確保と見直し
朝の会、体操、帰りの会などを見直し
遊び込めるように、パーテーションなどで部屋を
細かく区切りコーナーあそびを充実させる
種類、数をそろえる
- ホワイトボードへ伝達事項を記入
- 全体的に伝えたいことは、その都度グループLINE
で共有

④取り組みの成果/感想

- 改めて、保育の当たり前を見つめ直し、気づきがあったことで、保育室の環境と整備を行っていく良い機会になった。
- 保育が充実することで、子どもの心身が安定し、よく遊び、よく食べ、よく眠る、一日が保障され、保育者の心身の安定に繋が
り、時間の確保ができるようになった。
- グループLINEを活用することで、伝達の漏れが減り、職員間の情報共有がスムーズになった。
付箋を利用し、全員の意見が見える化することで、意見の偏りがなく、色々な意見を聞くことができた。また、原因を深掘りする
事で本当の原因が見えてきた。会議の質が上がると共に、考える機会が増え、保育士の意識向上に繋がった。園全体で取り組むと
いう意識で、これからもより良い保育を目指していききたいと思います。

一致団結2024～めざせ同僚性No.1～

①課題

職員との連携

■保育園名 原中央保育園

■所在地 早良区荒江3-19-7

■定員 80名

■職員数 28名



②原因

伝達方法・システムが整っていない
(コミュニケーション不足)

③打ち手

- ラインワークスの伝達事項に対し、見たというサインとしてのリアクションをすることを意識づける取り組みを行う。
- 伝達をする職員が伝達事項を自分で確認する意識が持てるようにクラスリーダーが働きかける。
(クラス担任以外とのコミュニケーションをとる場を設けて保育をテーマに対話する場を設ける。)

④取り組みの成果/感想

クラスリーダーを対象として園の課題を挙げたことで課題の共通認識をすることができた。また、ただ課題を挙げるだけでなく根本的な原因について考え、それに対する打ち手まで考えることでただ不満をあげるだけにはならなかった。打ち手については現在も継続して取り組んでいるため、取り組んだことのフィードバックを後日行う。そしてクラス担任以外とのコミュニケーションをとる取り組みを今後行っていく。

円滑なコミュニケーションで風通しのいい職場！

①課題

- ①個々が抱えている仕事内容、量をお互いに把握できていない
- ②職員間のコミュニケーション不足

- 保育園名 たんぽぽ保育園
- 所在地 福岡市西区福重5-10-6
- 定員 90名
- 職員数 23名



②原因

- ①仕事の振り分けが偏っている
(慣れている人、出来る人が行っている)
- ②保育について話し合う機会が少ない
(保育観や価値観のすり合わせが出来ていない)

③打ち手

- ①仕事を可視化する(ボードに書き出す)
- ②初めての業務でも無理なく行えるような仕組みをつくる
- ③MBTI診断等のツールを用いて、自分や相手のことを知る機会を設ける

④取り組みの成果/感想

- ①ボードに書き出し、全員が目にする場所に掲示することで、仕事内容の共有や優先順位の明確化が出来た。また、クラスを持っていないパートの職員への仕事の振り分けが容易になったことで、時間の短縮にもつながった。
- ②係やクラスの仕事を全てデータ、記録に残し、マニュアル化することで、初めての業務を行う人がすぐに取り掛かれるようになっていく。今後は誰が誰に業務内容を伝えていくか明確にし、よりスムーズに進めていけるよう仕組みを整えていく。
- ③今後実施予定
 - ★今後も継続して取り組みを進めていき、都度全員で話し合いながら、より良い職場環境づくりを行っていきたい。

3. 休憩の質の向上、 ノンコンタクトタイムの導入編



休憩とは？～休憩を取りやすくするために～

①課題

- 休憩がもっととれるのではないかな？
- 休憩の質が向上するのではないかな？

- 保育園名 中比恵ソレイユ
ガーデン保育園
- 所在地 福岡市博多区
博多駅東
2-12-34
- 定員 90名
- 職員数 29名



②原因

- 休憩に対して様々な意見がある。
- 更衣室に人が集まりすぎる。
- 業務量が多い時期もある。

③打ち手

- 休憩中に何をしてもよい。
- 職員同士連携すること。
→休憩時間をずらすなど
- フリーノートの活用、業務作業できるときに業務内で協力する。

④取り組みの成果/感想

休憩の取り方や時間など園全体で意見を出し合うため、アンケートを実施した。すると、今までは気付かなかった事もわかり、どうすれば取りやすい休憩のかたちになるか職員で考えることができた。今回の研修で、まずは課題を見つけポイントを絞ることで様々な原因、それに対する打ち手を見いだすことができたと思う。今後も職員同士の連携を大切に、よりよい職場づくりをしていきたい。

ノンコンタクトタイムを有効活用！

①課題

○ノンコンタクトタイムの確保

②原因

- ①各クラスの事務及び業務内容が明確化されていない
- ②保育士の配置や時間の確保

■保育園名 ブライト保育園福岡東比恵

■所在地 博多区東比恵2-12-39

■定員 60名

■職員数 18名



③打ち手

- 各クラスの事務、作業内容を整理及びリスト化（作業表やフリーノートを作成、活用する）
- 人員配置の調整
- ICTの活用（連絡帳、欠席連絡をアプリ内で行う）
- 各種会議の設定の見直し及び工夫

④取り組みの成果/感想

この研修に参加するようになり、少しずつ出来るところからノンコンタクトタイムを取り入れようと土曜日に一人担任のクラスが主に作業時間を設けたり、職員数にゆとりがある日に必要なクラスが順番でノンコンタクトタイムを確保したり、他職員に依頼出来るところはお願いするという形が少しずつ定着してきた。また連絡帳や欠席連絡もアプリでの連絡を取り入れたことで午睡の時間を有意義に使えるようになってきたと感じる。今後も、より“業務の見える化”を目指しながら先生たちが気持ちにゆとりを持ち、楽しんで保育が出来るよう、今回の研修を通して学んだ課題への考え方や手順など園内研修でも取り入れていきながら職員への周知も行いたいと考えている。

休憩・ノンコンタクトタイム！

①課題

休憩・ノンコンタクトタイムを
取れるようにしたい

■保育園名 認定こども園成徳保育園

成徳保育園ココテラス

■所在地 西区大町団地1135-6

■定員 270名(+1号15名) 18名

■職員数 60名(2施設合計)



②原因

- ・しなければならぬことが多い
(カリキュラムや行事等)
- ・今の活動内容のままだと以上児の
担任の代わりは、限られた職員しか
入れない

③打ち手

- ・保育内容・行事内容・業務内容
の見直し
(減らす・形を変える・まとめる)

④取り組みの成果/感想

- ・業務改善についてじっくり考える良い機会となりました
<これからしていくこと>
- ・以上児の担任が休憩するため、代わりにクラスに入る為の当番の仕組み作り（職員への聞き取りしながら決めていく）
- ・カリキュラムや行事を時代の流れもキャッチしながら見直す

業務の効率化で保育の質の向上を図る

①課題

- ・ノンコンタクトタイムがなかなかとれない。
- ・クラスによりノンコンタクトタイムが取りやすい、取りにくいがある。
- ・ノンコンタクトタイムの質を上げたい。

■保育園名 社会福祉法人 親和会
西都保育園

■所在地 福岡市西区大字女原414-1

■定員 90名

■職員数 25名



②原因

- ・ノンコンタクトタイムに使用する部屋がない。
- ・日によって、子どもの出欠や体調が違う。
- ・気になる子供が増え、未満児でも午睡をしない子どもが増加している。
- ・事務室で業務作業をしても、電話や来客があり、集中して取り組めない。

③打ち手

- ・使用するブースの設置。
- ・職員配置の工夫。
- ・交代で取れるよう、シフト表を作る。
- ・ノンコンタクトタイムで行う業務内容を決めておく(各クラス園全体で取り組みたい事を優先)
- ・グループラインを使用し情報を一括で共有する。

④取り組みの成果/感想

- ・子どもの出欠に合わせて、保育士の人数を調整することで時間を生み出すことができた。
- ・ノンコンタクトタイムで行う業務を事前に計画しておくことで、効率良く業務を行えた。
- ・職員同士での連携がスムーズにとれるようになり目的意識をもって保育ができるようになった。
- ・ノンコンタクトタイムを取る事で、結果的に保育の質を向上させることにつながると感じた。

R6 12月下旬 ノンコンタクトルームを設置



子どもたちにもわかりやすいよう表示する

今後の課題としては、働き方(正規職員、非正規職員等)によってノンコンタクトタイムの業務が違うので、多少時間に差はある。優先事項を重視するあまり、ノンコンタクトタイムを取る職員に偏りが出て来る事も考えられるので工夫が必要だが、保育環境の改善に繋がったのではないかと思います。



『1人で作業することでかなり集中できるようになり
効率よく書類作成が出来るようになった』

『子どもの声が聞こえても保育室の先生に任せ
割り切って仕事をする事が出来るようになった』
との意見が多く聞かれている

